

虹の丘地区社協だより

2022 年 3 月号 社協広報部発行



2021 年度末にあたり御礼申し上げます

虹の丘地区社会福祉協議会
会 長 西本 久子

日ごろ社協活動へのご支援ご協力を賜りありがとうございます。

皆様には、昨年 11 月にご多用の中にも関わらずアンケート調査にご協力いただきありがとうございました。また、ご協力頂きました「連合町内会」、「各町内会」の役員はじめ多くの方々に感謝申し上げます。

アンケート調査結果については、以下に詳細のご報告をいたしますが、皆様のご意見、ご要望等につきましては「連合町内会」、「各町内会」、「虹の丘シニアクラブ」、「虹の丘・加茂地域包括支援センター」等と連携しながら、今後の活動に反映して人生 100 年時代を見据えた、「ともに生き、支えあう町」虹の丘を目指してまいりたいと思います。

社協だよりにボールペンを添えましたのでご利用いただければ幸いです。

新装コミュニティセンターでのサロンで、お会いできる日を楽しみにしています。

※社協について下表にてご案内をいたします。

「社会福祉協議会」(社協)とは

社会福祉法に基づき、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を目的とし地域の皆様やボランティア、福祉・保健等の関係者や行政機関と連携し、地域の福祉活動を推進する民間の社会福祉団体です。「社会福祉協議会」(社協)の運営と事業は、委託事業や助成金のほか、皆様からのご理解とご協力による「社協会費」や寄付金を財源としております。

地域の皆様にご協力いただきました個人会員(町内会・自治会等)の会費は、次の例のように活用しています。

内 訳		
個人会員 300円 /年	150円	虹の丘地区社協の活動費
	100円	仙台市社協泉区事務所の事業
	50円	仙台市社協の事業

虹の丘地区社協では、「ふれあい食事会」「いきいきサロン」「オープンサロン」「健康講座」など地域福祉活動のために活用しています。

アンケート調査の集計結果報告(回収率 24.3%)

1 あなたの性別と年代を教えてください。(回答者全体の割合)

・年代の割合 60 歳以上(85.0%) ・60 歳未満の各世代(15.0%)

2 家族数を教えてください。(回答者全体の割合)

・1 人世帯、2 人世帯の割合(61.1%) ・3 人～7 人の世帯(38.9%)

3 虹の丘地区社会福祉協議会(社協)をご存じですか。

・はい(93.1%) ・いいえ(6.9%)

4 各町内集会所で開催しているサロンをご存じですか。

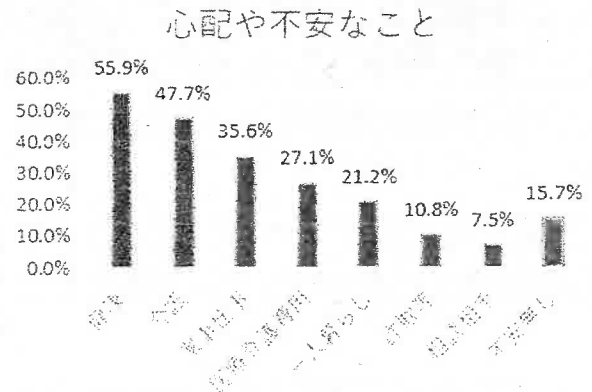
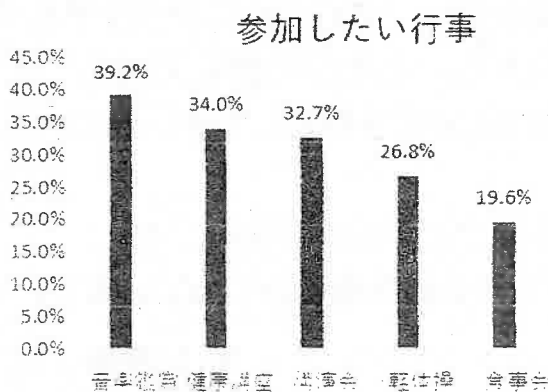
・はい(94.5%)< 参加したことがある(56.3%) ・ない(43.7%)>
・いいえ(5.5%)

5 どんな行事があれば、参加したいですか。(複数回答からの割合の高い順)

6 将来の生活に心配や不安なことはありますか。(複数回答からの割合の高い順)

(5)図示します

(6)図示します



7 コロナ禍の中、困っていることがありましたら、ご記入ください。

(皆さまの声の要約)

①生活全般

- *人と会う機会が減少し、会話が少なくなった。
- *高齢者施設で面会ができない。
- *マスク生活が困難である。
- *消毒で手が荒れる。対面交流がない。
- *車がないため、買い物が不便である。

②行事・催事

- *旅行ができない。
- *公共施設の利用ができない。
- *行事に参加できず、生活が不安定である。

③健康

- *かかりつけ医がない。
- *外出するのが億劫になり、健康管理が困難になる。

*外出が減少し、気分転換が出来ない。

④家庭

*遠方にいる両親の介護が難しい。

*県外に住む家族と会えない。

*見舞いに行けない。

⑤その他

*近所の様子がわからない。

*コロナ感染の先が見えない。

*障害者への理解がない。

*「コロナ禍」の枕詞・言葉が使われ過ぎる。

*基本的な時流に注意している。

8 あったらしいなと思う支援・行事、その他ご意見等 (皆さまの声の要約)

①生活全般

*介護用品、タクシー券の補助

*家事手伝い、除雪作業、除草作業、ゴミ出し

*老人施設の紹介、公共機関の相談窓口の紹介

*町内役員の代行・免除

②行事・催事

*日帰り旅行、ウォーキング、ハイキング、歴史探訪

*カラオケ、みんなで歌う(童謡・歌謡等)、演奏会

*蕎麦打ち、お花見、講習会(フラワー、料理、介護食)

*映画鑑賞会、演芸、ミニ作品展、施設イベント

*東北生活文化大学高校との交流、文化活動発表会への参加

*子育てや教育関係、子どもの行事、本の提供・授受

*相談コーナー(個別相談)

③防犯対策

*見守り、声掛けの支援

*詐欺情報の伝達

*緊急災害時の支援

④その他

*区役所等での住宅地の環境整備に注視

*身寄りが無い場合等、区役所に相談窓口の連絡先を設置

*司法書士や弁護士による個別相談

*子育て支援や教育関係の相談窓口

※アンケート完

研修部からの報告

研修部 井之上 庸子

・福祉委員勉強会

第1回福祉委員勉強会を7月7日(水)に泉社会福祉センター2階大会議室にて、福祉委員20名の参加で開催しました。

パラリンピックの種目でもある「ボッチャ」を、密を避けて楽しく学びました。

「ボッチャ」は1球ずつ立って、又は椅子に座って投げる、高齢者も子どもも一緒に楽しむことができる室内ゲームです。今後「ボッチャ」をコミュニティセンターなどで行うサロン活動に採り入れようと考えております。

・健康講座

第1回健康講座は、10月29日(金)に、泉社会福祉センター2階大会議室にて、地域の皆様の心身の健康を願って、ピアノ(クラビノーバ)とサキソホーンの生演奏で昭和歌謡曲を口ずさんでいただきたいと企画しました。

バス2台による送迎で、63名の方が参加されました。

大道美由貴さん(泉区の音楽事務所「Music Life」代表)のサキソホン演奏と遠藤まりえさん(「Music Life」所属)のピアノ演奏で、青葉城恋唄はじめ8曲を歌い、曲によっては黙唱し、演奏の合間には手遊びなどで楽しい時間を過ごしました。

第2回健康講座は、1月19日(水)に、泉社会福祉センター2階大会議室にて新年初笑いとして、日本笑い学会東北支部会員のマヨネーズさん(ご夫婦)を講師として迎え、演題は「歌って、手遊び、ご健笑!」です。

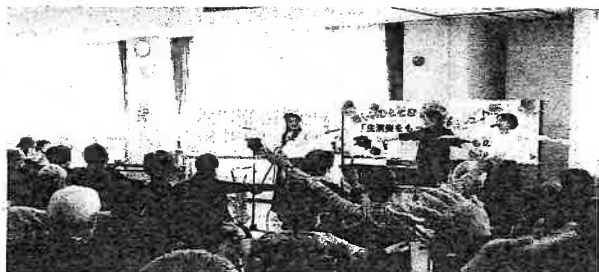
バス2台による送迎で、45名の方が参加されました。

マヨネーズの阿部眞宣さんは、34年前、虹の丘小学校の2代目の教頭先生として赴任され2年間虹の丘小学校の為に尽力された方です。

「誰か故郷を想わざる」・「荒城の月」
「どんぐりころころ」は、作詞者・作曲者の出身地などの紹介をしながら歌い、
「うさぎとかめ」で手遊びと足の体操、
「めだかの学校」は、替歌で歌いました。

マヨネーズさんによる作詞の「奥州仙臺八福神」を、「お座敷小唄」のメロディーで歌い、福の神様より1年の福を授かったような気分でした。

笑いと歌で誤嚥性肺炎予防、手遊びによる頭の体操と足の体操による血流改善で、あっという間の90分でした。



広報担当:浅野 信夫